

## 第4回豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会会議録要旨

- 1 **開催日時** 平成24年4月27日（金）午前10時00分～午前11時30分
- 2 **開催場所** 豊橋市役所 東128会議室
- 3 **出席者 委員** 上田裕（代理出席：黒谷厚志 愛知県教育委員会特別支援教育課主幹）、恩田やす恵、遠山達雄、山本五夫、白井英俊、花井君枝、山寄博充、村田勇一郎、小林一博、荒木登喜子、平井敏久、増田隆雄、戸田守彦 ※敬称略
- その他** 伊藤尚巳（愛知県教育委員会特別支援教育課長補佐）※敬称略
- 事務局** 加藤喜康（教育政策課長）、鈴木優一（建築課長）、村田敬三（教育政策課主幹）、柴田祥宏（教育政策課指導主事）、守田雅一（学校教育課指導主事）、加藤宣隆（建築課主査）、坪野康人（建築課）、峰野勝久（教育政策課）
- 設計業者**（株式会社 佐藤総合計画）井下仁史、前田英男、伊藤昭裕
- 欠席者** 鹿取健司、黒柳哲禎 ※敬称略
- 4 **議 事**  
（進行：事務局 教育政策課長）

### ・平成24年度豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会委員について

- （1）平成24年度豊橋市立特別支援学校整備連絡協議会委員名簿について説明

### ・基本計画（案）について

- （1）関係者との意見交換記録について説明

<委員>

保護者の送迎については、学校の敷地内で乗降できるようにお願いしたい。

<委員>

地域の人との交流とあるが、どのようなイメージをしているか。

<教育政策課長>

教育課程については今後開校までに考えていくところであるが、地域の資源等も活用しながら皆に愛される学校としていくため、例えば農園での作業を地域の方と一緒にできるとか、交流が深まるしくみを考えたいと思っている。

- （2）豊橋市立特別支援学校整備基本計画（素案）について説明

- （3）質疑等

ゾーニング図について意見

<委員>

地元地域が最も懸念しているのは交通問題。バスの乗り入れもあることから特に正門付近は危険のないよう気をつけていただきたい。地域が理解するだけでなく、納得ができるように。

また、交流の面で野依校区には福祉村という施設があるが、常時行事などで交流を図っている例もある。

<委員>

敷地に高低差があるが、法面の処理はどう考えているか。

<教育政策課主幹>

西側道路は拡幅して、法面も現況よりもしっかりしたものとする。北側擁壁も傷んでいるため整備が必要だと考えている。

<委員>

セキュリティについて、児童生徒が外へ出ないように等、具体的に考えているか。

<設計業者>

もちろん必要であり、セキュリティの方法もいろいろ考えられる。今後意見を聞きながら、様々なバリエーションの中からシステムを決めていく。具体的な検討はもう少し先の段階となる。

<委員>

グラウンドへの駐車は考えているか。また、運動会の際の車の対応は考えているか。

<教育政策課主幹>

現時点では、グラウンドへも入れるように考えている。

また行事の際の駐車場については、現野依小学校とも連携して、お互い駐車場を協力しあうことも考えている。

<委員>

敷地の高低差を利用して、下に倉庫や駐車場を置くなど立体的な整備は考えているか。

<教育政策課主幹>

予算面の課題もあると思うが、検討はしていく。

<委員>

敷地南側に2件家が残るが、買収予定はあるか。

<教育政策課長>

買収は考えていない。

<委員>

中庭について活用方法のイメージはあるか。

<設計業者>

1階には小学部を考えているため、遊具や築山などを設けて遊べる場所にするとか、芝生化をするなどが例として考えられる。詳細は今後の検討であるが、見て楽しむような庭ではなく、低学年の子が安全に遊べるようなスペースが良いのではと考えている。

<委員>

地元から要望がいくつか出ていると思うが今後の対応は。

<教育政策課長>

これまで頂いている要望は大きく12項目ほど有り、これらは市役所全体で考える必要があるため、関係各課と情報を共有しながら、できる、できないを含め、解決策やそれに伴う予算、また、いつ対応可能なのかを協議の上、地元の方に説明をしていきたいと考えている。

- ・ **今後のスケジュールについて**

基本計画・基本設計策定スケジュールについて説明

- ・ **その他**

＜教育政策課長＞

高等部の振分けについて、いろいろな意見を聞いていく中で、今のところ小中学部に在籍した児童生徒がそのまま高等部へ行くのが自然ではないかと考えている。またご意見等あれば頂いて、一定の方向は来月中には決めていきたいと考えている。

次回開催 平成24年7月（予定）